

「多様な背景を持つ学生への学修支援」について

湘南医療大学は、「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」の理念のもと、多様な背景を持つ学生に高等教育の機会を提供し、地域社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。私たちは、様々な人々がともに学び合い、互いに尊重し合える環境づくりに努めています。

1. 対象となる学生

居住地域や家庭環境などの事情により、進学や学修の継続に困難を抱える学生を主な対象とします。また、国籍や性別（性的嗜好や性自認を含む）に起因して苦痛や不利益を感じることがないよう、ダイバーシティとインクルージョンの理解促進にも力を入れています。

2. 学習支援の仕組み

入学後は、学生一人ひとりの状況に応じて、個別面談・学修相談を実施します。

基礎学力を補うための補習授業や少人数制指導を用意し、学修の定着を支えます。

国家試験対策として、模擬試験、重点分野の補習、個別指導を実施し、看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師などの資格取得を力強く支援します。

3. 生活支援

遠隔地から入学する学生には、学生寮や住居支援を提供し、安心して学業に専念できる環境を整えます。

経済的課題を抱える学生には、奨学金や授業料減免制度を活用できるように支援します。

ふれあいグループ医療・福祉機関でのアルバイト紹介を行い、学業と両立可能な勤務形態で、実践的経験と生活支援の両立を図ります。

4. キャリア・地域貢献支援

在学中から、地域貢献活動やインターンシップの機会を提供し、地域社会を支える専門職人材としての自覚を育みます。

卒業後には、地域医療・福祉の現場で即戦力となれるよう、大学と地域機関が連携して全面的に支援します。

5. 支援の方針

支援のあり方は画一的なものではなく、学生の背景や必要性に応じて柔軟に対応します。

6. 実施体制

個別対応は、学生が所属する学部・学科および事務部が主体となって行います。

学生支援委員会を全学的な相談窓口とし、各キャンパスやその他関係する委員会と連携して、大学全体で学生支援に取り組みます。

湘南医療大学は、これらの取り組みを通じて、多様な背景を持つ学生が安心して学び、国家試験合格を果たし、地域社会や医療・福祉分野で活躍できる人材に成長することを全力で支援します。